

講義名	研究演習
講義コード	12045
担当教員	上田 真由美
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 2時限
備考	

ゼミ
学部ゼミ・学科ゼミ

学部
経済学部

学科
経済学科, 経済情報学科

演習名
上田真由美ゼミナール(情報推薦システム)

### 概要説明

パソコンや携帯端末を用いて、個人が簡単に情報を発信できるようになりました。その結果、ネットワーク上には膨大な情報が存在しています。膨大な情報の中から、“必要な情報を見つけ出すこと”ができれば、容易に様々な情報を入手でき、非常に便利な世の中になったといえます。そこで、利用者にとって有用と思われる情報や商品を選び出し、利用者の目的に合わせた形で提示する情報推薦システムが注目されています。

また、様々な機器の発達により、パソコンの画面を見ながらキーボードやマウスで入力するといった従来手法による情報の入出力だけでなく、身振り手振りでの情報入力、さらに通常の画面以外への情報提示、ロボットを介したコミュニケーションが行われるようになってきました。

このゼミでは、情報推薦システムおよびインタラクティブシステムなど、実世界指向の研究開発に取り組みます。

学位
博士(情報学)

### 教員よりの要望

情報推薦や、インタラクティブシステムは、アイデア次第でいろいろなものができます。日常生活の中で、「もうちょっとこんな情報を推薦してくれたらいいの」や「こんな動作を機械に伝えられたらいいの」などアイデアのタネはたくさんありますので、注意深く見ておいてください。

ゼミは待っていたら答えが与えられるものではありません。みなさん自身が問題解決のための努力をすることと、ゼミメンバーとの議論・協力により、少しずつ解決していきます。このゼミでは、努力を惜しまない人、協調的に行動ができる人を望みます。

教員英字氏名
Ueda Mayumi

研究室
研究棟 2708研究室

最終学歴
関西大学 大学院 総合情報学研究科 博士後期課程

### 主な研究活動・社会活動・研究業績

研究テーマ：料理レシピ推薦, 調理支援システム, 学習支援システム, ロボットとの共生

主な業績：

"データベース-活用のための基礎知識", 昭晃堂

"レシピ閲覧・摂食履歴を用いた嗜好の抽出", Webとデータベースに関するフォーラム WebDB Forum 2011

"Developing a real-time system for measuring the consumption of seasoning", 3rd workshop on multimedia for cooking and eating activities: CEA2011 (The IEEE International Symposium on Multimedia 2011)

"講義中の行動分析に基づく講師受講者間インタラクションの検出", 人工知能学会 第60回先進的学習科学と工学研究会(SIG-ALST)

"食材認識のための画像と食材切断時の振動音及び荷重の利用", 電子情報通信学会論文誌D Vol.J97-D, No.9, 2014

"コスメアイテムの使用感および嗜好判定を目的としたレビュー分析手法の提案", 第7回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2015), 2015(優秀インタラクティブ賞)

### 主な卒業論文のタイトル

2016年度  
複数料理レシピを用いた調理スケジューリング手法の提案  
印象語を用いたマンガ料理DB検索システムの提案

2015年度  
iBeaconを用いた積み上げ型学習支援システムの提案  
陣取りクイズラリーシステムの構築と新長田三國志祭での運用  
艦隊これくしょんに関するツイートの攻略情報抽出手法の提案

2014年度  
Leap Motionを用いた非接触型インタラクティブ地図システムの提案  
類似ユーザの興味及び盛り上がりを考慮した番組推薦  
食事画像間の類似度を用いたカロリー推定手法の提案

(前任校や共同研究先では以下のような研究がありました。)  
食材に対する好き嫌いを考慮した料理レシピ推薦手法の提案  
余剰食材の使い切りを考慮した料理レシピ推薦手法の提案  
画像・振動音・荷重データを統合的に用いた食材認識

趣味・特技
温泉旅行など

所属

所属学会
情報処理学会, 電子情報通信学会, 日本データベース学会, ACM, IEEE, 人工知能学会, 教育システム情報学会, ヒューマンインタフェース学会

専門分野
Web情報推薦システム, 教育学習支援システム

選考方法
書類および面接にて選考します。必ず個別ガイダンスを受けてください。

担当科目
情報処理入門, 情報科学, 情報管理論, 情報学概論, 意思決定論, 企業論特別講義(官公庁), メディア心理学(2015年度), 特別クラス (2016年度), コミュニケーション論(2012年度, 2013年度), 認知科学(2012年度~2018年度)

備考
社会共創プログラムへの参加や、オープンキャンパスでのデモ展示, ゼミ旅行, 親睦会を予定しています。

評価方法
出席状況, 提出課題, ゼミ活動への積極的な取り組み等により総合的に評価します。